



総合学術調査報告書発刊に寄せて

三野町長 竹 重 義 博

この度、阿波学会による三野町総合学術調査の成果がまとまり、その報告書が発刊される運びとなりました。ここに心からのお慶びと御礼を申し上げます。

三野町では、平成16年1月26日に町政施行80周年記念日を迎え、それを記念するために、昭和49年に発刊した『三野町誌』の続編を編纂する企図のもとに阿波学会による三野町総合学術調査を要望しておりましたところ、幸いにも平成14年度の阿波学会の事業としてご採択賜りました。

平成14年7月23日(火)、三野町公民館2階大ホールにおいて、関係者多数のご参加のもとに結団式が挙行され、18班という多方面の調査団に基づき広範な分野にわたり学術的視点によるハイレベルの調査を実施していただき、12月1日(日)には、同じく公民館2階大ホールにおいて情報機器を駆使した内容の濃い中間発表をしていただきました。

調査団の皆様には、公私ともに非常にご多忙の中にもかかわらず、遠路来町され、しかも酷暑の中昼夜を問わず山頂から吉野川縁まで町内をくまなく踏査される一方、多数の町民の皆様のご協力をお願いしてご家庭を訪問されての聞き取りや現地調査をされるなど、大変なご苦勞をおかけしたにもかかわらず、調査期間中、町としての受け入れ態勢や準備、資料提供、紹介などに十分なお世話ができずご迷惑をおかけ致しましたが、調査団の皆様の学術的な使命感からするご熱意と町民各位特に今回の学術調査にご協力いただいた皆様のご支援により、多大の成果を以て終了することができました。ここに改めて、阿波学会、県立図書館の関係者並びに町民各位のご尽力とご協力に対し、衷心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。

本町ではこれまで企業誘致や4次にわたる若者定住土地提供施策、道路網の整備、生活環境基盤の整備、子育て支援施策の充実、保幼小中学校教育の充実、特に校舎体育館の増改築、小学校でのパソコンの一人一台および普通教室への配置等を進める一方、文化財の保護に関しましては、三好長慶一族の拠城として周知の芝生城址の大型説明板の設置や、文化文政時代幾多の難問を克服して遂に完工し、一大米作地帯と化した阿波藩唯一の300メートルに及ぶトンネル用水を顕彰する記念碑「三村（芝生村、勢力村、加茂野宮村）溝水碑」の現代語訳碑の新設、暗渠部分の大改修、用水間の水争い和解碑周辺の整備と公園化、平家落人伝説「建礼門院の五輪塔」周辺整備等にも努めて参りましたが、学術的体系的な裏付け調査は皆無でありました。

こうした現状において、今回の総合学術調査は、本町の地殻構造や地質、動植物、建築、古文書、考古学、史学、民俗、方言、生薬等あらゆる分野にわたる調査をしていただき、町政施行80周年記念の「三野町史」編纂発刊に強固な基盤を形成していただくと同時に、この方面に関する町民の関心を啓発していただき感謝に堪えません。

終わりにになりましたが、総合学術調査団の皆様方のご努力とご苦勞に対し深く感謝致しますとともに、この調査にご協力、ご支援いただきました町民の皆様方に心から御礼申し上げ、併せて、阿波学会の今後ますますのご発展と会員各位の一層のご活躍をご祈念申し上げ発刊のお祝いと御礼の言葉といたします。